

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」の取り組みを進めています。町や地域が行うこの取り組みについて、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



おんたきじんじや たきぶしん 御瀧神社の瀧普請と例大祭

御瀧神社の境内にある大滝・小滝(大小2つの池)の湧水は、光明寺集落の生活・恵み・祈りの源であり、人々に大切にされてきました。

毎年祭礼の前に、池の湧水を抜き清める「瀧普請」が4月8日に行われました。集落のみなさんが集まりお浄めが済むと、池の真ん中に新しい「ポンテン」を立て、宮司がお祓いを行いました。



大滝から小滝へとつながる小道もきれいに



ポンテンを立てお祓いをする様子

翌週の4月14日には例大祭が行われ、社殿にて宮司による神事後、拝殿で直会が行われました。神社の祭礼に合わせ、小滝に隣接する三常院御堂、薬師如来の石仏が安置される薬師堂でも法会が行われました。



薬師堂での法会



直会の様子

清らかな湧水のもとで受け継がれる光明寺集落の人々の活動は、歴史まちづくり計画の歴史的風致の1つとなっています。「集落外の方もぜひ瀧普請などの活動に参加し、歴史に触れてほしい」と光明寺町内会長の渋谷福重さん。町の大切なたからものとして、皆で支えていきたいものです。

復活した舞が披露されました！

～内谷春日神社太々神楽～



4月15日、内谷春日神社にて例大祭が行われ、内谷春日神社太々神楽保存会と子ども太々神楽教室生が、全26座のうち13座の舞を奉納しました。

同保存会は、平成28年度より継承が途絶えていた8つの演目の復活プロジェクトに取り組み、田村市船引町の「大倉の太々神楽の保存会」との交流のもと、昨年度末に見事全ての演目の復活を果たしました。

今回奉納された「天地開闢」と「燈明」の2座

は、その取り組みで再び習得した舞です。両手にろうそくを持ちながら前転や後転をする場面が見どころの燈明は、次世代を支える若手の楽人によって披露されました。

多くの人々の想いで復活した歴史ある神楽を、これからも大切に伝えていきたいものです。



両手にろうそくを持ち燈明を舞う楽人

こんにちは！ 地域おこし協力隊です

国見町地域おこし協力隊の辞令交付式が4月17日、国見町役場で行われ、太田久雄町長から末崎貴士さんに委嘱状が手渡されました。



太田町長(右)から委嘱状を受ける末崎さん(左)



「若者が育って、僕が
「もう必要ない」と言われる
まで頑張ります！」(笑)

地域おこし協力隊 末崎 貴士さん

東京都出身。29歳。有名テーマパークや大手コーヒーチェーン店で人材育成を担当した経験を持つ。今後、町の地域おこし協力隊として若者の人材育成を目的とした事業の企画・運営を行う。任期は1年間。

インタビュー

—国見町の地域おこし協力隊に応募したきっかけは？
昨年度まで2年間にわたり、復興庁の事業で「若者の学びの場づくり」として国見町に関わらせていただき、その中でたくさんの方と出会いました。その若者たちが「やりたいことをやれる」お手伝いをしたいと思い、応募しました。

—国見町の印象は？
事業に関わってきた中で感じたことですが、「本当はできるのに控え目」という人が多いという印象です。また、町中に果物がたくさん実っている景色はとてもきれいです。自然と便利さが調和している町という印象があります。

—国見町のみなさんへひとこと
まだ分からないことも多いですが、自分にできることを一つずつしっかりやっていきたいと思います。国見町のみなさん、よろしくお願いします！

習字の作品

国見小学校
(6年生)

湖
坂内厚太

湖
舟山 颯

湖
武田紗季

湖
岩城 龍音

小さな天才たち